



第129回通常組合会を開催 令和3年度決算を承認

さる、7月30日（土）に第129回通常組合会が札幌ガーデンパレスにおいて開催された。今回の議案は、第128回通常組合会議案の専決処分報告、令和3年度決算の承認および剰余金処分案の決定等で、これらは原案どおり可決された。

以下、組合会の概要についてお知らせする。
なお、組合員の方には、決算の詳細について、本誌第1248号附録で公告（道医国保公示第467号）しているものを別途送付いたしますので、ご参照願います。

以下、第129回通常組合会の概要についてお知らせする。

組合会は午後3時30分開会され、議員定数57名中、資格確認時17名（最終出席者数21名）、他に表決委任状提出者29名の出席があり組合会は成立した。

最初に、長瀬清理事長から挨拶が行われた。

長瀬理事長挨拶

『皆様こんにちは。第129回通常組合会を開催するに当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、お忙しい中、全道各地からご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。平素より、当組合の事業運営に格別のご支援、並びにご協力をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。』

新型コロナウイルス感染症により、世の中は大きく変わりました。発生からすでに2年が経過しましたが、感染の拡大と縮小を繰り返し、7月に入ってから感染者数の急増は、オミクロン株の新系統による第七波と位置付けられております。もはや早期の収束を期待するというよりも、その中でどうやって日常生活を取り戻していくのかを、模索せざるを得ない局面になってまいりました。医療現場では、日常的に感染対策に神経をとがらせながら、日々の診療の中では、いつ自分がウイルスに感染してしまうのではないかとこの恐怖にも、向かい合うことを強いられておりますので、本当に頭が下がる思いであります。2月に開催を予定しておりました組合会は、まん延防止等重点措置が適用されたために中止とし、理事の専決処分に対応をいたしました。今回は、行動規制は行わないという政府の対応方針を鑑みて、開催をさせていただくことにいたしました。

さて、令和3年度の事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた組合員への保険料の減免、傷病手当金の事業等を引き続き実施いたしました。お陰様をもちまして、無事に終えることができました。令和元年度の後半から令和2年度にかけては、入院医療費が増加をして、令和2年度においては、保険給付費の補正予算の編成を余儀なくされる事態も発生しましたが、令和3年度に入っ



長瀬清理事長挨拶

てからは、6月診療月分より急速に減少し、令和2年度よりも、保険給付費が1億3千万円も減少しましたので、令和2年度を上回る単年度黒字額となりました。次々と承認となっている超高額薬剤により、当組合の保険給付費がどのような影響を受けることになるのかという疑念があることに、変わりはありませんが、足元の入院医療費は堅調に推移していますし、蓄積された財産もございますので、令和4年度においても、問題なく事業運営ができるものと考えております。

一方で、財務省の財政制度等審議会が5月にとりまとめた建議の中に、昨年に引き続いて「所得水準の高い国保組合の定率国庫補助を廃止することも検討すべき」との文言が明記されまして、年末の予算編成に向けて、激しい攻防が予測されております。先日の参議院議員選挙においては、47都道府県の医師国民健康保険組合で設立した全医連との間で政策協定を結んでいる自見はなこ先生が、高い順位で当選をすることができました。北海道岩見沢市出身の渡邊芳樹氏が会長を務められている全協、さらには日本医師会のお力も借りながら、全国の医師国民健康保険組合とともに、定率国庫補助13%の維持に向けて、訴えてまいります。

本日の組合会は、ご案内のとおり、令和3年度の収支決算のご承認と、剰余金の処分についての議案

がございます。先生方には、慎重にご審議をいただき、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。甚だ簡単ではございますが、組合会開催に当たってのご挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。』

長瀬清理事長挨拶後、令和3年6月から令和4年5月までの1年間にご逝去された20名の組合員の方々のご冥福を祈り黙祷が捧げられた。



佐藤信清議長が議事録署名議員として、次の2名を指名した。

道南ブロック 函館市：萩澤正博 議員

道北ブロック 富良野：内海 真 議員

会議次第に従い報告事項に入り、三戸和昭常務理事から第128回通常組合会議案の専決処分報告ならびに令和4年4月から6月の業務報告について報告が行われ、報告どおり承認された。

ここで、議長は佐藤信清議長から神田雄司副議長に交代し、議事が進行された。

議案第1号 令和3年度歳入歳出決算について

歳入総額	2,672,142,471円
歳出総額	1,605,337,547円
歳入・歳出差引残額	1,066,804,924円

田代典夫常務理事から決算について詳細な説明が行われ、その後、我妻浩治監事から「内部監査」、外園光一監事から公認会計士により実施された「外部監査」について監査報告が行われた。

審議の結果、原案どおり承認可決された。

議案第2号 令和3年度歳計剰余金の処分について

歳入歳出差引剰余金	1,066,804,924円
準備積立金	0円
特別積立金	0円
別途積立金	0円
翌年度会計繰越金	1,066,804,924円

田代典夫常務理事が提案趣旨を説明し、上記の剰余金処分について原案どおり承認可決された。

以上で予定された議案がすべて終了し、閉会にあたり長瀬清理事長から閉会の挨拶がなされ、第129回通常組合会は午後4時20分閉会となった。

インターネット道医師国保組合ホームページをご利用ください

北海道医師国民健康保険組合では、組合ホームページを開設し、皆様に、本組合の業務にかかわる諸情報等を逐次発信しております。

また、各種申請（届け出）用紙はホームページからも入手できますので、組合への届け出（当組合への加入および脱退など）、その他、給付に関する申請および健康診査の助成金の請求など手続きが必要な場合は、是非ご利用ください。

* 北海道医師国民健康保険組合ホームページアドレス

<http://www.hokkaido.med.or.jp/kokuho/>

〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目
北海道医師会館6階

北海道医師国民健康保険組合

TEL 011-271-7471

FAX 011-241-6414

